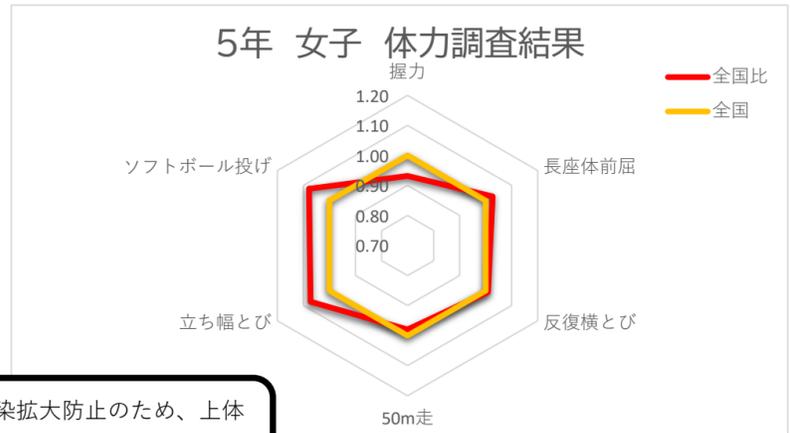
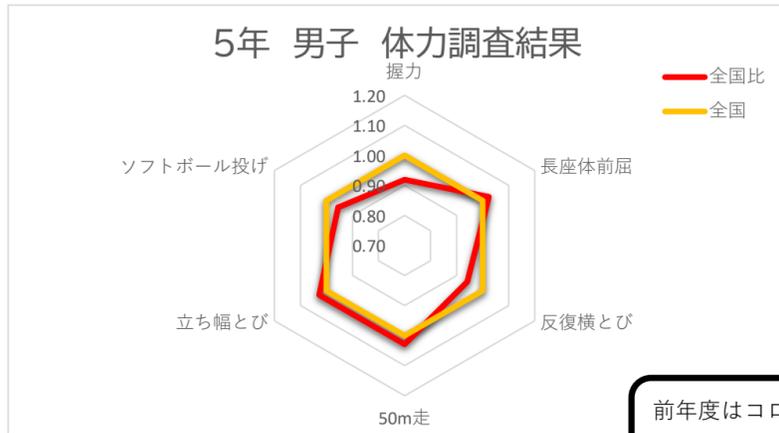
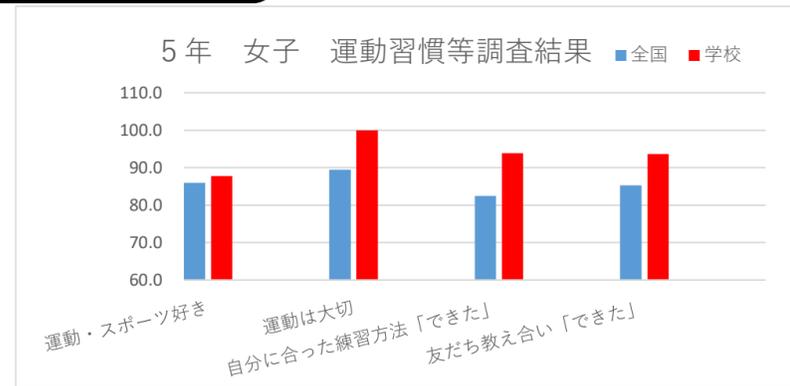
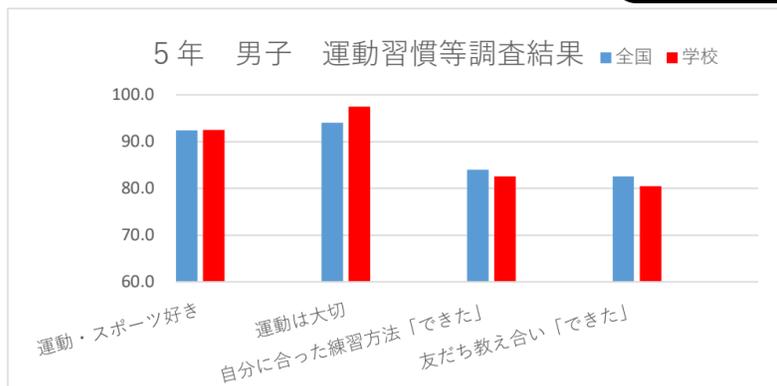


1. 現状（令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より）



前年度はコロナ感染拡大防止のため、上体起こし・シャトルランは実施せず。

※全国の平均値を1として、学校の比を示しています。



※「運動・スポーツが好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」については、肯定的な回答の割合を示しています。

2. 改善プラン

① 現状と課題

- 令和元年から重点種目（1～2種目/年）を絞り、その能力を高めるための取組みを進めてきた。令和3年以降に取り組んだ種目（ソフトボール投げ、長座体前屈、立ち幅跳び、反復横跳び）において良好な結果が出ている。逆に、令和2年以前に重点種目として取り組んだ種目（50m走）や、令和5年の重点種目（握力）においては、十分な力が身につけていない。
- コロナ禍により未実施の2種目（上体起こし・シャトルラン）も高まっていないことが予想される。 ●運動に関するアンケートは概ね良好な結果が出ている。 ●給食の残食量が少ない。

② 目標・めざす子ども像

- 体力がある子ども（体育を好きでいてほしい 「やればできる」を感じてほしい 体力・運動に自信を持ってほしい 生涯にわたりスポーツを楽しめる土台を作ってほしい）
- 元気いっぱい子ども（生活習慣や食育について正しい知識を持ってほしい その重要性を理解して、自ら整えられるようになってほしい）

③ 取組み

取組み内容	対象学年	取組時期	元気力としての観点			
			体力	保健	生活習慣	食育
体育の授業時に茨木っ子運動と、握力を高めるためのドリルゲーム(5～10分)の実施	全学年	通年	○			
保健だより・給食だよりの発行	全学年	毎月		○	○	○
養護教諭・栄養教諭からの指導	全学年	数回		○	○	○
魅力ある体育の授業について校内研修・研究授業	教職員	4,5月	○			
握力・50m走を高めるためのドリルゲーム紹介(校内研修)	教職員	4月	○			
次年度の重点種目(上体起こし)のドリルゲーム開発	教職員	通年	○			
体育イベント「握力王決定戦」の実施(学校朝会・給食時間のテレビ放送)	全学年	数回	○			
握力を高めるための啓発活動(独自の記録賞の配布・Top10と成長Top10の掲示など)	全学年	通年	○			
知見を深めるために茨木市教育委員会の研修に積極的に参加する	教職員	通年	○	○	○	○